

Okamoto Miki

Tsuiki Ryuya

Suga Sakura



聞いてみよう  
先輩たちの声  
～中学校編～

# CROSS TALK

岡山市立山南学園  
ツイキ リュウヤ  
築城 龍也さん  
英語教諭/教員歴6年目

岡山市立桑田中学校  
オカモト ミキ  
岡本 美紀さん  
音楽教諭/教員歴2年目

岡山市立御津中学校  
スガ サクラ  
須賀 さくらさん  
養護教諭/教員歴2年目

**築城** 初任から1年が経ちましたが、お二人にとってどんな1年でしたか？

**岡本** とにかく楽しかったです。自分から話しかけてきてくれる生徒もたくさんいて、中学生ってこんなにかわいくて純真なんだと驚かされました。

**須賀** 私はわからないことばかりの1年でした。養護教諭は校内に一人なので、自分の処置や対応が間違っていないか知りたくても質問できる人がなくて、迷うことが多かったです。

**築城** 色々気づき迷いながらも1年を無事終えられて、とても立派だと思います。そもそもお二人はどうして教員になりたいと思ったのですか？

**須賀** 私は以前から後輩や同級生の悩みを聞いて相談に乗ることが多く、誰かの役に立つことが好きで、人の役に立つ仕事に就きたいと考えたのがきっかけです。

**岡本** 私は音楽教員と演奏家、どちらを目指すかで就活の終盤まで悩んでいました。当時アルバイトで小学生にピアノを教えていたのですが、その子の成長がとても嬉しくて、私にとっては、自分の演奏を聴いてもらうよりも、教え子の演奏が上達したときの喜びの方がはるかに大きいと気づき、音楽教員になろうと決意しました。築城先生はなぜ教員になりたいと思ったのですか？

**築城** 私は小さいころ身体が弱くよく入院をしてい

たのですが、病院の先生や看護師さんを見て、子どもながらに自分も「人の役に立ちたい」と思うようになりました。そして、小学生になって子どもたちに教えている教員を見た時、「これだ」と思って。そこから教員の道を目指すようになりました。お二人は教員になって2年目ですが、職場の環境はどうか？

**岡本** 実は教員になる前は、中学校の教員に対してとても怖いイメージを持っていました。でも赴任してみたらイメージとは違い、先輩はみなさん優しく指導してくださり安心して働いています。

**須賀** 私が勤めている学校も、教員同士の仲がいいですね。初任の私を心配して手伝えることあったら言ってねと、先回りして声をかけてくださいます。

**築城** そうなんですね。先輩教員の方も同じ道を通してこられているので初任教員の気持ちがよくわかり、手を差し伸べてくださるんだと思います。教員同士のコミュニケーションは大切ですね。

私が勤める学校の職員室での話題は生徒のことが多いですね。この生徒はこんなことができるようになったんだよ、とか、あの子は最近様子がおかしいけど何か知りませんか？など。話すうちにどんどんほかの教員も加わって、気が付けば一人の生徒について学級、学年関係なく全教員で話し合っていることも多々あります。このような状況、環境が魅力的な学校教育をつくっていくのだと私は思います。

それでは次に、教員になって不安なことや大変だったことはありましたか？

**須賀** 養護教諭は命を預かる仕事でもあり、責任の重さを痛感します。自分の処置が悪かったことで後遺症が残るなどという事態になったらどうしようと、常に不安と隣り合わせです。

**築城** その不安はどうやって解消していくのですか？

**須賀** とにかく近隣の養護教諭の先輩方に電話などで連絡をとって横のつながりをつくり、何かあればいつでも質問できるような関係性を築きました。あとは骨折など、学校内で起こり得るアクシデントについてどう対処したらいいのかを、本を読み勉強しています。

**築城** 1年目にして学外の教員とのつながりをつくるなんてすごいですね。そして自力で学び続けているその姿勢に感心します。岡本先生はどうですか？

**岡本** 私は合奏コンクールで担当した編曲の作業に大変苦労しました。これまで一度も編曲をしたことがなかったので、まずは専用ソフトの使い方から覚えるなど、手探り状態で何度もやり直ししながら、なんとかやり遂げることができました。本当に苦しかったのですがコンクール当日、自分が苦労して仕上げた曲を生徒たちが一生懸命に演奏してくれている姿を見たら、自然と涙がこみあげてきて、最後には大泣きしてしまいました。教員になって本当によかつ



生徒にも教員にも頼られる存在に  
(須賀さん)

義務教育学校なら9年分の成長に立ち会える  
(築城さん)

音楽の楽しさを生徒たちに伝えたい  
(岡本さん)

山南学園 チャレンジ山南ルーム

## 苦勞の先に感動がある。だから頑張れる！

たと思えた瞬間でした。私は生まれ変わっても、絶対に教員になりたいです。

**築城** それは素晴らしい経験でしたね。教員は大変なことももちろん多いのですが、時にそういう感動があるから頑張れるんだと思います。須賀先生は教員になって嬉しかったことはありますか？

**須賀** そうですね。以前、毎日のように保健室で悩みの相談に乗っていた生徒がいて、卒業後もずっと気になっていたのですが、先日その生徒から暑中見舞いのハガキが届いたんです。そこには、当時、須賀先生に話を聞いてもらったおかげで今こうして元気に高校に通っています、と書かれていました。その生徒の充実した高校生活の様子が目に浮かび、嬉しくなりましたね。

**築城** 教員冥利に尽きるとはこのことですね。教員をする上でのモチベーションにもなりますよね。私は、小中連携採用で教員になって初任から3年間は小学校に赴任していたのですが、当時やんちゃで元気いっぱいだった子に、先日、部活動の大会で偶然出会うことがあったんです。そしたらその

子が、ずいぶん落ち着いていて、「先生お久しぶりです、お元気ですか。」なんて大人びた挨拶までしてくれて。その成長ぶりに胸が熱くなり、当時頑張ってきたと教員のやりがいを改めて感じました。今は岡山県で初の義務教育学校に赴任していて、義務教育9年間の生徒の成長を長く見守れる環境にいます。初等部、中等部の担任をしてもその児童達が高等部になった時のことを考えながら指導するようになるなど、教員としての視野が広がっているのを実感しています。最後に、これからお二人がどのような教員になりたいのかをお聞かせください。

**須賀** 生徒だけでなく教員からも頼ってもらえる養護教諭になりたいです。そして生徒が辛い時、いつでも気軽に保健室を訪れて、心や身体を癒して、また元気に教室に戻っている、そんな安心できる存在でありたいと思っています。

**岡本** 私は、生徒たちから、岡本先生に出会ってよかったと思ってもらえるような教員になりたいです。楽器を演奏することの楽しさに気づいたり、それまで興味がなかったクラシックを聞くようになったり

など、私の授業が音楽を好きになるきっかけになればとても嬉しいです。

**築城** ありがとうございます！今回色々なお話ができ、喜びを感じる面も苦労する面もそれぞれにありますが、やはり教員の仕事っておもしろいなど改めて気付かされました。きっとお二人も同じ気持ちだと思います。一緒に岡山市の教育現場を盛り上げていきましょう！

※初等部(小1~小4)・中等部(小5、小6)・高等部(中1~中3)

### 教員を目指す方へのメッセージ

**岡本** ノルマや利害もなく、純粹に人の成長に携われる教員という職業は素晴らしいと思います。  
**須賀** 学生のうちから、多くの人と関わってネットワークを作っておけば、教員になったときに、何かと心強いですよ。  
**築城** 生徒の人生の登場人物の一人になれる仕事です。子どもたちの思い出に残る教員になってください。

WE LOVE OKAYAMA CITY!  
わたしのおすすめ  
岡山市のいいところ

**うらじゃ**  
岡山の夏の風物詩。鬼のメイクをした踊り連が県内外から集まります。最後は見学者も一緒になって踊る、その一体感も魅力。(須賀さん)



**100キロ歩行**  
24時間以内に100キロを歩く大会です。今年、教え子に誘われて参加。一緒に事前トレーニングをするなど、いい経験になりました。(築城さん)



**RSK バラ園**  
バラや季節の花が楽しめる素敵な場所です。イベントやフリーマーケットも開催されていて、今度、音楽教室に参加する予定です。(岡本さん)

